

## 2022年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月5日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東  
 コード番号 6552 URL <https://gamewith.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 (氏名) 伊藤 修次郎 TEL 03-6722-6330  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月5日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年5月期第2四半期の連結業績（2021年6月1日～2021年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	1,459	4.0	97	-	92	-	54	-
2021年5月期第2四半期	1,402	-	△90	-	△94	-	△142	-

（注）包括利益 2022年5月期第2四半期 55百万円（-％） 2021年5月期第2四半期 △143百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第2四半期	3.02	3.00
2021年5月期第2四半期	△7.90	-

（注）2020年5月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2021年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第2四半期	4,891	3,209	65.6
2021年5月期	4,818	3,151	65.3

（参考）自己資本 2022年5月期第2四半期 3,206百万円 2021年5月期 3,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年5月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,193	10.9	133	-	130	-	79	-	4.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期2Q	18,315,900株	2021年5月期	18,295,900株
② 期末自己株式数	2022年5月期2Q	251,235株	2021年5月期	251,235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期2Q	18,047,944株	2021年5月期2Q	17,999,835株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2022年1月5日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、まだ一部で弱さが増しています。また、新たな変異株の拡散が懸念されるなど収束の見通しが立たず、依然として先行きに対する不透明感が続いており、個人消費や行動においても、持ち直しの兆しがみられますが、引き続き弱い動きとなっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレント及びeスポーツ選手が動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツを主にWebサイトの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により広告出稿を控えていた企業も徐々に出稿を増やしており、「GameWith」等のページビュー当たりの広告単価は改善傾向にありましたが、ページビュー数は底堅い水準で推移しました。

このような環境下において、当社グループはゲーム攻略やゲーム紹介といった既存事業の拡大に取り組むだけでなく、新たにeスポーツ領域に注力することで今後の事業を拡充することに努めてまいりました。eスポーツ領域は、話題性があることはもちろん、当社グループが2018年から培ったプログラミングチームの運営ノウハウや動画配信など、他社にはない経営資源に更なる磨きをかけることで差別化を図ってまいりました。更に2021年10月には日本におけるプロeスポーツチームのパイオニアであり、世界で最もプレイヤー数の多いPCゲームとされている「League of Legends」部門の日本チャンピオンチームの運営をし、世界的な大会においても実績を残している株式会社DetonationNの株式を取得し子会社化するなど、積極的に事業を展開しています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,459百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は97百万円（前年同期は営業損失90百万円）、経常利益は92百万円（前年同期は経常損失94百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失142百万円）となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。これは主に、未収消費税等が79百万円、未収還付法人税等が91百万円減少したものの、子会社株式の取得によりのがれんが250百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が125百万円減少したものの、買掛金が40百万円、その他負債が92百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が54百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、3,472百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は346百万円（前年同期は221百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益92百万円、未収消費税等の減少額81百万円、法人税等の還付額53百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は242百万円（前年同期は63百万円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出235百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は161百万円（前年同期は1,225百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出164百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年7月14日の「2021年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,530,036	3,472,237
売掛金	384,067	—
売掛金及び契約資産	—	435,516
前払費用	49,353	65,484
未収消費税等	81,872	2,114
未収還付法人税等	161,850	70,302
その他	5,313	10,848
流動資産合計	4,212,495	4,056,503
固定資産		
有形固定資産	122,921	108,127
無形固定資産		
のれん	94,231	345,084
無形固定資産合計	94,231	345,084
投資その他の資産	388,819	381,288
固定資産合計	605,973	834,500
資産合計	4,818,468	4,891,004
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,427	108,056
1年内返済予定の長期借入金	328,404	341,886
未払金	62,372	73,063
未払費用	106,811	119,351
未払法人税等	4,777	5,689
賞与引当金	109,408	77,966
資産除去債務	11,810	11,809
その他	22,273	115,184
流動負債合計	713,284	853,007
固定負債		
長期借入金	926,426	800,742
資産除去債務	27,685	27,683
固定負債合計	954,111	828,425
負債合計	1,667,396	1,681,432
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	549,625	551,225
資本剰余金	548,624	550,224
利益剰余金	2,249,481	2,303,934
自己株式	△200,107	△200,107
株主資本合計	3,147,623	3,205,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	1,122
その他の包括利益累計額合計	445	1,122
新株予約権	3,004	3,172
純資産合計	3,151,072	3,209,571
負債純資産合計	4,818,468	4,891,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
売上高	1,402,388	1,459,208
売上原価	689,504	789,615
売上総利益	712,884	669,593
販売費及び一般管理費	803,104	572,314
営業利益又は営業損失(△)	△90,219	97,278
営業外収益		
受取利息	13	17
助成金収入	2,278	570
還付加算金	—	811
その他	87	11
営業外収益合計	2,379	1,409
営業外費用		
支払利息	1,644	2,198
投資事業組合運用損	3,743	3,158
為替差損	1,090	352
その他	198	8
営業外費用合計	6,676	5,717
経常利益又は経常損失(△)	△94,517	92,971
特別損失		
事業所閉鎖損失	117,447	—
特別損失合計	117,447	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△211,964	92,971
法人税、住民税及び事業税	5,911	27,266
法人税等調整額	△75,590	11,251
法人税等合計	△69,678	38,518
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△142,286	54,453
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△142,286	54,453

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△142,286	54,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△933	677
その他の包括利益合計	△933	677
四半期包括利益	△143,219	55,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143,219	55,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△211,964	92,971
減価償却費	11,134	22,328
のれん償却額	13,293	17,718
事業所閉鎖損失	117,447	—
売上債権の増減額(△は増加)	△27,698	41,876
未収消費税等の増減額(△は増加)	△7,859	79,758
未払金の増減額(△は減少)	△4,699	9,384
その他	△497	30,271
小計	△110,843	294,310
利息の受取額	13	17
利息の支払額	△1,993	△2,373
助成金の受取額	1,710	570
事業所閉鎖に伴う支払額	△83,785	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△26,558	53,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△221,456	346,429
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△39,105	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△235,546
資産除去債務の履行による支出	△23,302	—
その他	△835	△7,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,243	△242,727
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△86,668	△164,702
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,480	3,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,225,812	△161,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,090	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	940,021	△57,799
現金及び現金同等物の期首残高	2,684,857	3,530,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,624,879	3,472,237

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、一部事務所の退去を予定しているため、退去後利用見込みのない固定資産について、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社は、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。